

平成29年度
会館だより 第1号

卒業生からのメッセージ

岩手県学生会館

平成29年4月21日発行

歡 迎

平成29年度

22名の新入寮生の皆さん



大歓迎会開催

岩手県学生会館の平成29年度が新入寮生22名を迎え、総勢75名(男子41名女子34名)でスタートしました。

早速、太田副代表を始め、村松理事、瀬川理事、坂本理事、平野監事、石杜評議員、そして昨年度当会館を担当してくださった県東京事務所中田主事さんも駆けつけ、大歓迎会を開催しました。これから共に生活する仲間としての最初の会館行事でしたが、新入寮生は最初のうちは緊張していたものの、後半は先輩方も打ち解けて話はずんでいました。

今年度は応募者が例年より若干少なく、心配しましたが、期間延長する学生も多いため総数とすれば昨年度より1名減ということになりました。また、女子の応募者が少なかつたため、昨年増やした女子の居住区を元に戻しました。これにより定員は元のとおり、男子50名、女子40名ということになります。

平成30年度はさらに応募者を増やすため、会館のPR等に努めていく必要があります。在寮生の皆さんも母校に帰るときには是非、会館のPRにご協力ください。

自治会長から

来年度(平成29年度)に向けて

生内 雄之介

去る一月十五日に開かれた自治会総会において、前任の小守潤先輩から引き継いで正式に寮長に就任した大学三年の生内雄之介です。来年度一年間、皆さん宜しくお願い致します。

まず初めに、総会に関して報告があります。総会では、今年度の決算報告と来年度の新任の寮長の選出が行われました。この総会において私の寮長の就任と、加えて副寮長に二年生の高橋咲恵子さんが就くことが決まりました。

次に、来年度に向けての私の抱負をお話したいと思います。私は、寮生間の交流を図っていきたくと考えています。新入寮生歓迎会や現旧寮生交流会など様々なイベントを開いています。寮生の参加者数が少ないことが目立っています。皆さんが、学業やその他の活動で忙しいことは承知していますが、出来る限りイベントには参加して頂きたいと思えます。岩手県学生会館には、県内各地から多種多様な学生が集まっています。寮で行われるイベントを通

して、先輩、同期、後輩と世代を超えて交流してほしいと思えます。

長々と私の考えを書いてしまいました。最後になりますが、来年度一年間、皆さん宜しくお願い致します。



特集

どうぞお元気で

卒業生からのメッセージ

この三月、ここ岩手県学生会館で四年、もしくは二年間過ごした学生の皆さんが新天地に赴くために旅立ちました。期間の長短はありますが共に過ごした皆さんの今後のご活躍とご多幸をお祈りいたします。

会館を去るにあたってメッセージを残してくれましたのでご紹介いたします。在寮生の皆さんの役に立つこともあるのではないのでしょうか。

二年間を振り返って

後藤 真由

寮へ越してから二年、とても充実した生活を送ることができ、とても幸せでした。最初は人見知りなので緊張したし、友達ができるか不安でしたが、すぐに仲良くなれました。寮のご飯は本当に美味しくて、いつも満たされていました。栄養バランスのとれた食事、快適なお風呂、そして個人部屋。勉強もはかどることができましたし、

集中して取り組むことができました。

東京生活も最初は慣れませんでした。寮の生活を通して岩手出身の仲間がいてくれたからこそ、安心して過ごすことができたのだと思います。幸せな二年間を送ることができたこと、会うたびにいつも声をかけてくれた寮母さん、寮でできた親友、全ての人に感謝です。新しい場所でも頑張ります。ありがとうございました。

吉田 奏

会館で過ごした一年間はあっという間に過ぎていきました。一年という短い期間ではありますが、館長さんや寮母さんを始めとして、食事やお風呂、清掃などあらゆる面で多くの方々にお世話になりました。本当にありがとうございます。都会での大学生生活一年目を岩手県学生会館という恵まれた環境で過ごせたことに対し、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、寮生活を楽しく充実させてくれた同じ一年生の友人たちにも感謝しています。またいつか一緒に食事し、談笑できたいと思います。

会館での日々は私にとってかけがえのないものとなりました。この寮に入って良

かったです。本当にありがとうございました。

東京で過ごした日々

小原 菜穂

期待と不安を胸に上京し、館長さんにお部屋まで案内していただいたあの日から、はや四年間が過ぎました。今、引越してがらんとした部屋の中で、四年とは何て速いものなんだろうと、時の速さに驚いています。

あつという間の東京で過ごした四年間ではありましたが、自身が最も成長できた、濃い四年間でもあったように思います。色々な事をやってみて、たくさん勉強にもなって、同時に失敗もたくさんしました。でも学生会館に帰ってくると、会館の方から、何でも話せる友人もいて、おかげで二十二年間で最も良い四年間を過ごせたとおもいます。

春からは社会人として頑張らなくてはなりません。自身の課題もここ最近で見つかりました。まだまだ成長し続けなければならぬ日々だと思います。東京で、学生会館で過ごした日々を支えに、新生活に臨みたいと思います。

ありがとうございました。



感謝

山崎久美子

岩手県学生会館では、沢山の素敵な友が出来ました。また、朝夜は食事もあり、勉強にも集中できる環境が整えられており、とても住みやすい寮でした。就職活動時には、説明会を開催していただいた他、館長さんや寮母さんから、過去の先輩の話聞くことが出来、とても為になりました。友達とご飯を食べたり、おしゃべりをして楽しい時間を過ごしたり、自習室で集中して勉強をしている友達を見て刺激を受けたり、尊敬できる友達がたくさん出来、素敵な二年間を過ごすことが出来たのは岩手県学生会館のおかげです。

館長さん、寮母さんをはじめ、沢山の

方々に支えられていたため、不自由なくこの二年間過ごす事が出来ました。本当にありがとうございました。お世話になりました。

飯高 恵理華

岩手県学生会館での2年間はあっという間に過ぎ、新入生歓迎会が昨日だったかのように覚えていきます。寮での生活は、とても良く栄養が考えられたご飯があり、お風呂も沸いてあって、これから一人ですべてやらなければならぬと思うと、寮での生活はとても恵まれた環境でした。

仲良くしてくれた同期や先輩、また寮の皆さん本当にありがとうございました。

学生会館での生活を振り返って

江幡 なるみ

早いもので、大学に入学してから四年が経ちました。後二カ月で卒業です。初めて上京した日は確かひどい雨の日でしたが、引越しの時は晴天になり、幸先もよさそうです。

私は学生会館に四年間籍を置かせて頂きました。今までは同期の子が出ていくのを眺めていましたが、今日で寮生活も最後と

いうことなので、ここでの生活を振り返ってみようと思います。会館での生活はとても楽しいものでした。大学からのアクセスの良さ、食事や広い浴場は勿論ですが、何よりも嬉しかったのは朝起きてそして帰ってきてからの時間を共有できる友人がいるということでした。おかげでひどいホームシックになることもなく、「第二の家」での生活がとても暖かなものになりました。友人達には感謝もしきれません。

不自由なく学生生活四年間を送る中で、時に悩むこともありましたが、とても充実した時間でした。館長さんをはじめ、寮母さん、樺澤さんには何度もご迷惑をおかけして、申し訳ありません。いつも優しく親身になってくださり、本当にどれだけ救われたかわかりません。本当にありがとうございました。

私は学生会館が大好きです。離れるのは寂しくもありますが、東京の実家のような存在であり続けるような気がします。ここで得たもの、特に人とのご縁をずっと大切にしていけば社会人になってもどうにかやっていけるんじゃないかな、という妙な自信があるので、私なりに進んでいきたいと思えます。

最後にもう一度私と関わってくださった皆様に感謝申し上げます。そして在寮生の皆様の生活が、ますます良いものになることを祈っています。長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

楽しい四年間

畑 智佳

期待と不安が入りまじる中、上京し、早いもので四年が経ちました。寮での生活は、楽しいことばかりでした。ここに入っていないだけで出会うこともなかった友人たちと出会い、かけがえのない関係を築くことができました。この寮に入って良かったです。優しく見守ってくださいました館長・寮母・樺澤さんには頭が上がりません。本当にありがとうございました。



寮で過ごした四年間

高橋凜菜

あつという間の四年間。大学卒業を前に一足早く退寮です。一人暮らしに憧れて進学し、寮住まいになって落胆していたあの頃が今じゃもう懐かしい。寮での生活は思っていたよりもずっと楽しくて快適で。それもきつとハタチカや福美さんたちと出会えたから。色々なことがあった四年間だったけど、なんでも話を聞いてくれて助けてくれて、馬鹿やったりドジ踏んだりいつも忙しかった日々とももうお別れ。いざこの瞬間が来ると想像以上に寂しいもので。でも退寮したっていつでもすぐ会えるから心配はしていない。いつかOB OG会に呼ばれることあって、ハタチカや福美さん、ナホちゃん、くみ、先に退寮しちゃったみんなに会えたら、きつと絶対幸せ。だからみんな一緒に行こう。サヨナラはなし。またね。・・・

岩手県学生会館での暮らし

瀧本 最励

東京での大学生活が決まった私が、この学生会館の存在を知ったきっかけは、親か

らの紹介でした。大都会での一人暮らしに胸を高鳴らせていた私にとって、寮生活は閉鎖的で不自由なイメージがありました。が、ホームページに掲載されていた綺麗な建物写真を見て入寮のモチベーションが上がった記憶があります。

四年弱の学生会館での生活を振り返ってみると、概して非常に恵まれた環境を享受できたなと感じます。あたたかい食事や同郷の友人との出会いは、ここでしか得られないものであったと感謝しています。何分ずぼらな性分でありますので館長をはじめとする多くの方にご迷惑おかけしたかと思いますが、おかげ様で充実した毎日を送ることが出来ました。ありがとうございました。



岩手県学生会館での二年間

佐々木 濤

東京に来て二年、右も左も分からず、最初は電車にもまともに乗ることができませんでしたでしたが、寮に入ってみると同郷の友人ができたり毎日おいしいご飯が食べられたりと非常に恵まれた環境で生活することができ、不安ばかりだった東京での暮らしも安心して過ごすことができました。

四月からは一人暮らしを始めます。今までの寮生活とは違い本当に一人で全ての事をやらなくてはなりません。東京へ来たときよりも不安な気持ちがありますが、新しい生活が非常に楽しみでもあります。常に前進、常に成長できるように自立した生活が送れればと思っています。

最後であります、館長さん、寮母さんいつでも温かく迎えてくれてありがとうございます。これからも頑張っていきたいです。

退寮に寄せて

伊藤 萌

本来であれば学生会館に四年間お世話になるつもりで、在寮期間延長の面接まで受けていたのですが、諸事情で急遽退寮させ

て頂く事となり、ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。

さて、学生会館では沢山の思い出が出来ました。おいしい食事、温かいお風呂、そして何より友達が出来た事。右も左も分らない東京での新生活、不安な日々も学生会館に帰ってくれば仲間がいること大変励まされ前向きに頑張れました。これからは、それぞれ違う道を歩いていきますが、共に励まし合い高め合いながら、ずっと友達でいたいと思います。

最後に、館長さん、寮母さん、管理人さん、食堂の方、清掃員の方、学生会館に関わるすべての方に心より感謝申し上げます。二年間ありがとうございました。

小野寺 航

2年間という短い東京生活でしたが、自身にとってかけがえのない大切な2年間となりました。慣れない都会での生活、その中の就職活動、何もかもが初めてで悩み苦労もありましたが、無事希望通りの就職も決めることができました。この結果も岩手県学生会館での朝・夕の食事や綺麗な施設環境などたくさん支えがあったの事と思います。

2年間お世話になりました学生会館の館長さんはじめ、関係者の皆さま、大変ありがとうございました。ございました。

齋藤 幸恵

私は四年間、岩手県学生会館でお世話になりました。四年前、最後の最後で大学が決まり、慌ただしく東京へ行く準備をしたことがついこの間のように感じられます。

初めて東京で暮らすということ、最初は不安でいっぱいでした。しかし、この学生会館に同郷の友達がいることで、慣れない地でも安心して生活することができました。

また、私は会計士を目指していて、大学と並行して専門学校にも通っていました。勉強中心の生活で必然的に一人になる時間が多かったです。なのでこの学生会館で身近に友達と話せることが私にとって本当に嬉しかったです。

最後になりますが、館長さん、寮母さん、事務の権澤さんには四年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。



私は東京理科大学入学時に東京理科大学に通いやすい物件を探した新聞記事でこの岩手県学生会館を見つけました。最初は寮の人たちとうまくやっていけるのか心配ではありましたが寮の人が親切なこともありすぐになじむことができました。また学習環境も整備されていてスムーズに心地良く勉強できるスペースも確保されており学習環境も良好でした。自分は東京理科大学に通いながら毎日のように出されるレポートの公務員試験の学習、化学の勉強などでやる事が盛り沢山ではありましたが、寮のサポートのおかげでスムーズに問題解決に取りくむことができました。まだまだこれからも困難な課題と何回も向き合うことになると思いますがめげずあきらめずがんばっていかうと思えます。

山火 大輔

寮生活を振り返って

佐藤 来夏

この二年間、大変お世話になりました。初めて親元を離れて慣れない環境の中で、学校のことをこなすのが精一杯だった私にとって温かい食事が提供されることや、同郷の気の許せる仲間がいることなどはとてもありがたかったです。

これからは一人暮らしで、少し寂しい思いもありますが、一日でも早く支えてくださった皆様に恩返しができるよう、努力していきます。本当にありがとうございます。

鷹木 永梨那

二年間はすぐくあつという間に過ぎていき、気づけばもう卒業、退寮の時期が迫ってきてしまいました。

上京して早二年、この学生寮で過ごした二年は私の思い出です。いつも一緒にいてくれた友人に感謝の気持ちでいっぱいです。新しい友人もでき、とても充実した二年間を不安を感じることなく送ることができました。

退寮する日が迫っているのを感じると少

し寂しい気持ちもありますが、これからは自分の力で自分の決めた道をつき進んでいきたいと思えます。

二年間いつも支えてくれた家族、友人、寮長、寮母さんなどたくさんの人に感謝しています。本当にありがとうございます。

祝

現代詩歌文学館主催

「スポーツと詩歌2016」

優秀賞受賞

谷村康太さん

作品紹介

共鳴

谷村 行海

無限の放物線を描いて球体は空を飛んでいく
消えてしまった冥王星の悲しみを
遙か銀河の先から受け取って

地上に、降り立つ
世界を覆うような音がする
ドツ、すん。

投げつけられた球体は緑の芝生のほんの一部
たったそこだけ
たったそれだけ
それでも大地と共鳴し

地上の一部として機能をはたす
 いつかなくなるかもしれない
 無数の天体を代表して球体は
 地上に降り立った。
 球体を投げた人は神話の神々と同じ。
 たくましくもろい肉体で次の砲丸に備える
 太陽が芝生の上を通過して
 地上を熱く大きくしてくれる
 銀河の先にある太陽は地上のことを
 まだ知らないはずだ

会館からの連絡

◎平成29年度寮生活を送るにあたって

会館で生活するうえで利用規則を守ることが当然ですが、次のことにも留意して楽しい寮生活を送ってください。

- ・同じ岩手県人です。明るく、あいさつで一日を始めましょう
- ・会館の売りは清潔さです。居室前には靴、ゴミなど私物を置かないこと。また、必ず上履きを使用し、裸足では歩かないこと。
- ・居室は常に清潔にし、少なくとも週一回の清掃を心がけること
- ・門限があります。無断で破った人には警告書をだします。届け出を励行すること。

- ・外部の方を居室には入れないこと。
- ・ドアの開閉は丁寧にすること。
- ・光熱水費が高騰しています。こまめに消灯し、エアコンのつけっぱなし等に注意すること。
- ・学習室の整理整頓に気を配ること。特にプリンターの使用時は十分留意のこと
- ・下足、傘、浴場の衣類等の紛失に注意。
- ・入浴のマナーをよく守って利用すること。
- ・アイロン、掃除機の使用は規定を守って使用のこと。また、使用後はすぐ返却すること。

◎各居室の破損等について

各部屋の電気、椅子、ブラインドなど破損しているものはありませんか。もし、そういうものがありましたら事務室までご連絡ください。修理もしくは取り換えをします。

◎母校訪問について

夏休みや、諸事情で母校を訪問する方には会館のPRをしていただくために手土産代を支給する制度があります。恩師や後輩に会う際、会館の利用案内を手交し、会館の様子をお伝えただけです。どうぞご利用ください。

◎新理事に 志賀 節 氏

3月の理事会で代表理事から新しい理事の推薦があり、審議の結果、満場一致で理事会推薦となり、評議員会で正式に理事就任という運びになりました。志賀氏は長年岩手選出の衆議

院議員としてご活躍なされ、環境庁長官を始め、要職を数多く勤められた方です。また、当援護会の顧問をしていただいている志賀かう子さんのお兄さんでもあります。今後、大所高所から当会館の運営に対し、ご指導並びにご協力いただけるものと関係者一同大いに期待しているところです。

編集後記

新入寮生を迎えての歓迎会。参加者数が心配されましたが、40名を超える参加者で一安心。いや、それ以上にこの盛り上がりはなんだ、と思わせられるほどの充実した歓迎会でありました。参加してくださった来賓の皆様には感謝申し上げます。また、岩手銀行さんからは飲み物の提供をいただきました。ありがとうございます。次号では新入寮生からのメッセージを紹介いたします。ご期待ください。

平成二九年四月二十一日発行
 編集並びに発行元 公益財団法人岩手県学生援護会
 岩手県学生会館
 同 学生自治会
 住所 東京都豊島区要町二丁目5番5号
 TEL 03 (3972) 4783
 FAX 03 (6676) 4471